

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

団体名	NPO 法人 うだ夢創の里
活動タイトル	里山の自然を守り続けることを地域内外の人々と共有し拡げてゆく。
活動地域	奈良県宇陀市



6/4(日) まちからの田植大会。10名

【活動の目的・目標】

16年前から、耕作放棄地を田畑に戻してきた土地をまちからの参加者や地元の小学生や多世代の人々と共に保全活動と共に成果物を享受することで持続可能な活動として定着をめざす。



7/22(土) 田んぼの生き物探し 53名

【今回の活動で苦労した/工夫したこと】

黒米の稲作が例年コナギの水草の繁茂により、分けつが進まず収量が少なく苦労していましたが今年は田植え後すぐの数回の除草作業で7月後半までコナギが生えず豊作の予感でした。ところが、収穫間近に紋枯病とゴマ葉枯れ病にかり予定日より早めの稲刈りを決行せざるを得なくなりました。猪、鹿の害獣被害もあり、柵の補強と草刈りに追われました。



9/20(水) 室生小5年の稲刈りはさがけ 15名

【活動の内容・成果】

開催回数：45回

参加人数：477名

達成率：73%

・田んぼ作業（種落とし・田植・草取り・草刈り・稲刈り・はさがけ） 176名

・生き物観察会（草刈り準備・田んぼの生き物観察・室生の川で生き物観察） 120名

・田、畑、果樹畑の手入草刈り作業
・畑の作業、収穫作業 181名

体験イベントや観察会への参加人数313人
会員の作業やイベントスタッフとしては164人
普段の一人草刈り作業、管理作業はカウントに入れていません。

【団体概要】

1991年より活動を始めた環境団体「地球の宝を守り隊」を母体に、環境、農事、体験、食をテーマに活動しています。

地域の異世代が集える拠点づくり、高齢者の配食、共食事業、まちとの交流をはかれる体験をおこなっています。安心安全な農産物を作り、それらでおいしいものを作りお届けします。

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



5月11日(木) 室生小6年生18名のじゃが芋の芽欠き草引き追肥土寄せ作業体験。
5年生最後の3月に種芋植えを体験し、この作業を経て7月3日に収穫です。
そしてこのじゃがいもの中から大きいものを学校給食に提供し、地域循環地産地消などを身をもって体験してもらいます。



6月16日(金) 室生小5年生15名の田植え体験です。田んぼ面積の4分の1ほどを小学生が担当してくれています。この後草取り、秋に稲刈りはさがけ天日干し、足踏み脱穀唐箕体験をし、収穫後には黒米おはぎづくりを体験します。



6月21日(水)室生小1,2年生30名のさつまいも苗植え付け体験です。
この後、草引きをしましたが、猪被害にあい植え付けた半分くらいを掘り起こされてしまいました。
11月には収穫体験できる予定。



6月24日(土)スタッフ4人でじゃが芋収穫作業体験イベントの前の草刈りや体験のスタッフなど裏方として日常ボランティアが活躍してくれています。